

大村市新庁舎 実施設計書【概要版①】

令和7年12月 大村市



1. 新庁舎の計画方針

基本方針

市民サービスの向上につながる庁舎

計画方針

- ①窓口部門の低層部への集約
- ②案内・相談機能の充実
- ③駐車スペースの確保

人や環境にやさしい庁舎

計画方針

- ①ユニバーサルデザインの導入
- ②自然・省エネルギー機器導入等による環境負荷の低減
- ③感染症に対応した環境整備

市民の安全・安心を支える庁舎

計画方針

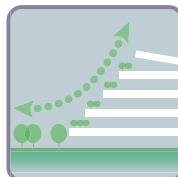
- ①災害時の防災拠点機能
- ②非常時に機能を維持できる耐震性・耐久性
- ③自家発電の導入等ライフラインの維持

経済性を考慮した庁舎

計画方針

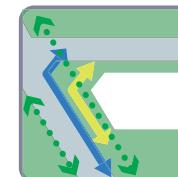
- ①組織の変化に柔軟に対応できる構造
- ②ライフサイクルコストを考慮した構造や設備
- ③機能性を重視したシンプルな形態

2. デザインコンセプト



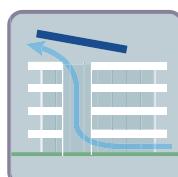
公園と一体感のあるデザイン

景観に溶け込み、階段状にセットバックしたデザインによる森園公園との一体感を創造



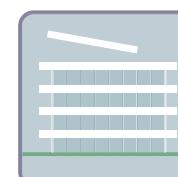
街並みとの調和

サンセット通り・森園公園と並行な建物形状により、街並みに連続し調和する景観を創出



風が通り抜ける建物

建物内に風の通り道を計画し、効果的な自然通風を誘発



重なるプレート

大村の歴史や生活文化の重なりを表す積層したプレートが、地層のようにしっかりと地域に根を下ろす様を表現

3. 計画概要

計画地 : 長崎県大村市森園町 1537 番地 1 (ほか)

敷地面積 : 21,794.37 m²

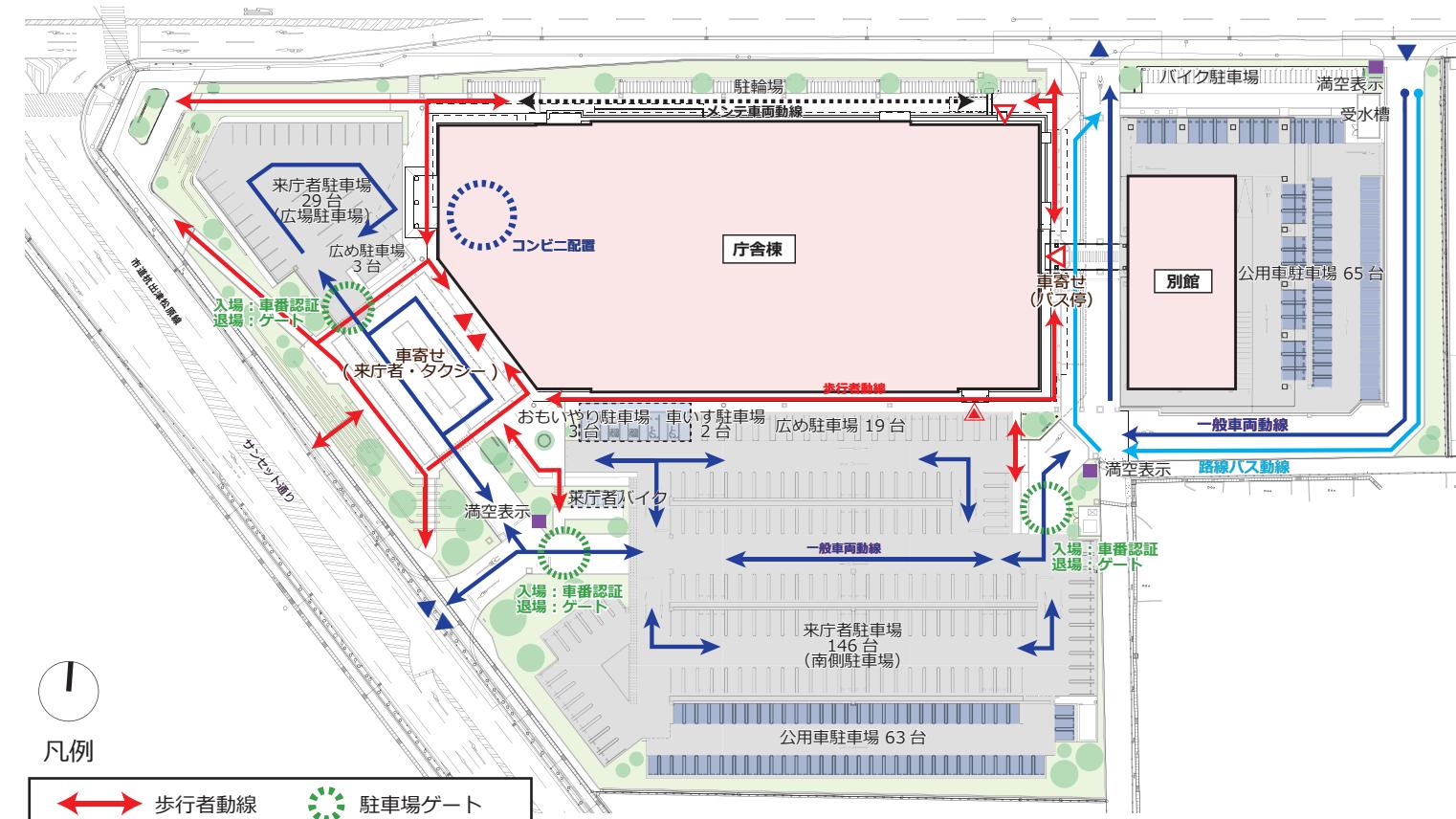
構造種別 : [庁舎棟] 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 / 免震構造 地上 5 階
[別館] 鉄筋コンクリート造 / 耐震構造 I 類 地上 2 階

建築面積 : 7,060.82 m²

延床面積 : 19,971 m²

駐車台数 : 202 台 (おもいやり駐車場 3 台、車いす駐車場 2 台、広め駐車場 22 台)

4. 配置計画



凡例

歩行者動線	駐車場ゲート
一般車両動線	メイン出入口
路線バス動線	サブ出入口 (時間外利用想定)
その他動線	サブ出入口
	車両出入口

『おもいやり駐車場・車いす駐車場』

建物出入口に近く、移動距離が短くなる位置に車いす利用者が使いやすい「車いす駐車場」を設置します。加えて妊婦や高齢者も使用することのできる「おもいやり駐車場」を設置します。

『広め駐車場』

おもいやり駐車場に加え、通常の駐車スペースよりも幅の広い「広め駐車場」を設置します。

5. 事業計画

事業費

	金額		備考
	基本設計 (令和6年8月)	実施設計※1 (令和7年10月)	
新庁舎建設工事費	約128.1億円	約141.7億円	庁舎棟
	約13.7億円	約15.4億円	別館
その他の工事費	約17.6億円	約16.5億円	外構工事、解体※2
その他の必要経費	約20.0億円	約29.4億円	設計費、備品購入費 電算関係費、移転費等
合計	約179.4億円	約203.0億円	

※1) 今後の物価変動等により、左記金額は変更になります。

※2) 解体工事は市民プールの解体に関するものであります。現庁舎の解体工事は含まれません。

事業スケジュール

	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
基本設計 実施設計	基本設計・実施設計 (24カ月)					
解体工事		市民プール解体工事 (約7カ月)				
建設工事		事務手続 (約11カ月)		建設工事 (約28カ月)		
移転等				移転等 (約3カ月)	供用開始	

※建設工事を進める中で変更になる可能性があります。

6.内観デザインのイメージ図



エントランスは明るく開放的なつくりとします。総合案内カウンターや階段は分かりやすい位置に設置します。天井や壁等の内装材には大村市産木材を使用します。



市民の利用が多い1階の窓口は、どの出入口から来庁しても、目的の窓口が確認できるようロビーに面して直線状のカウンターを設置します。

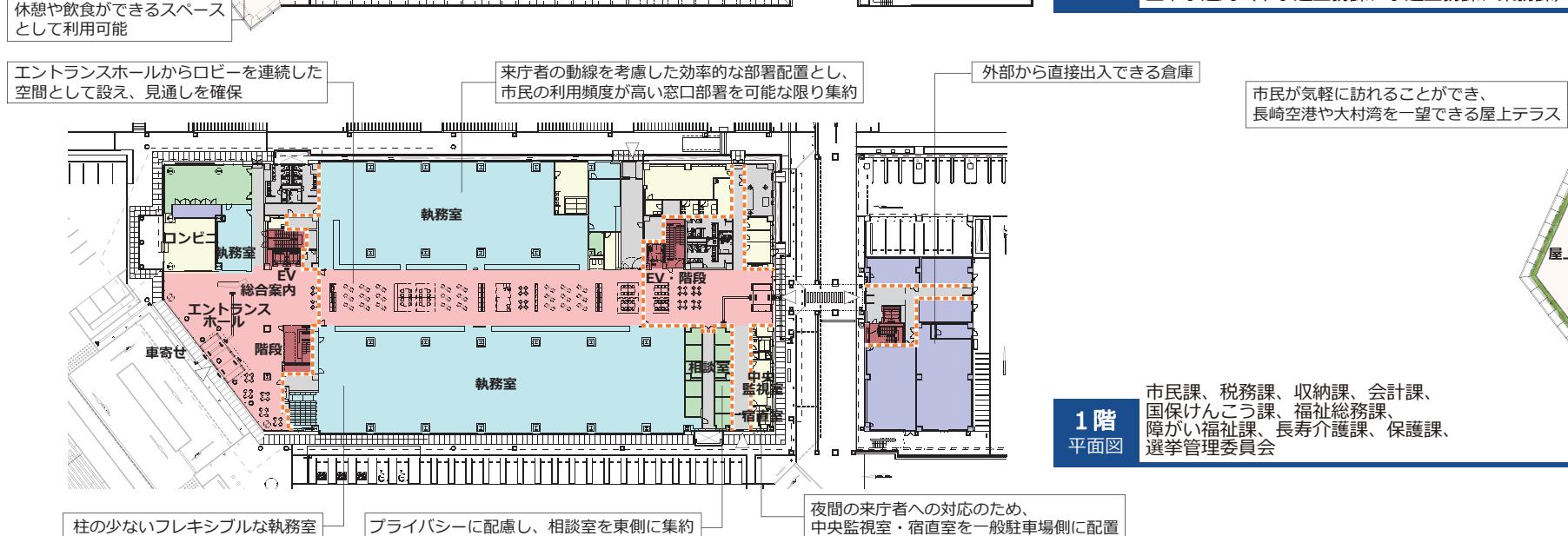
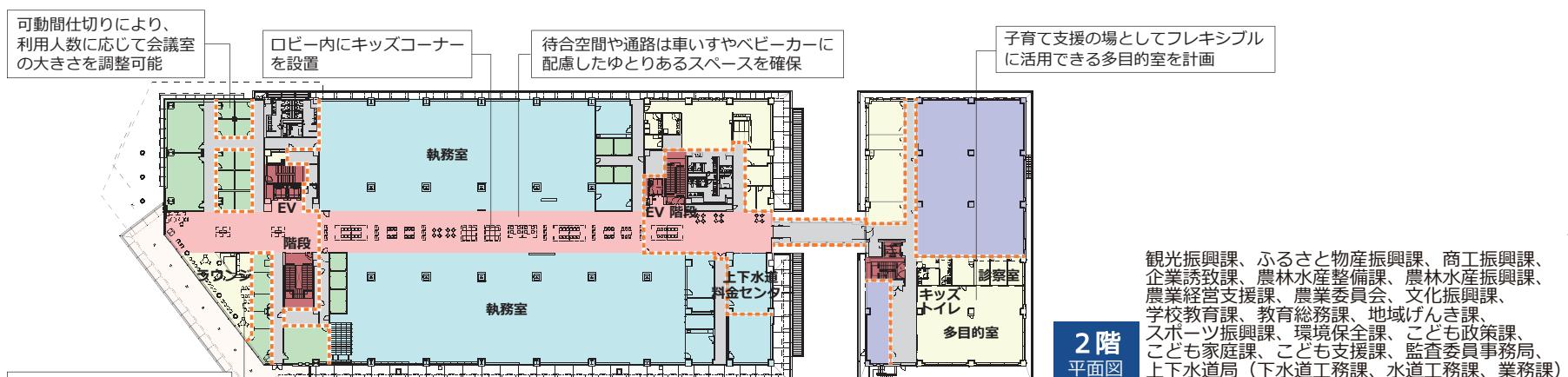
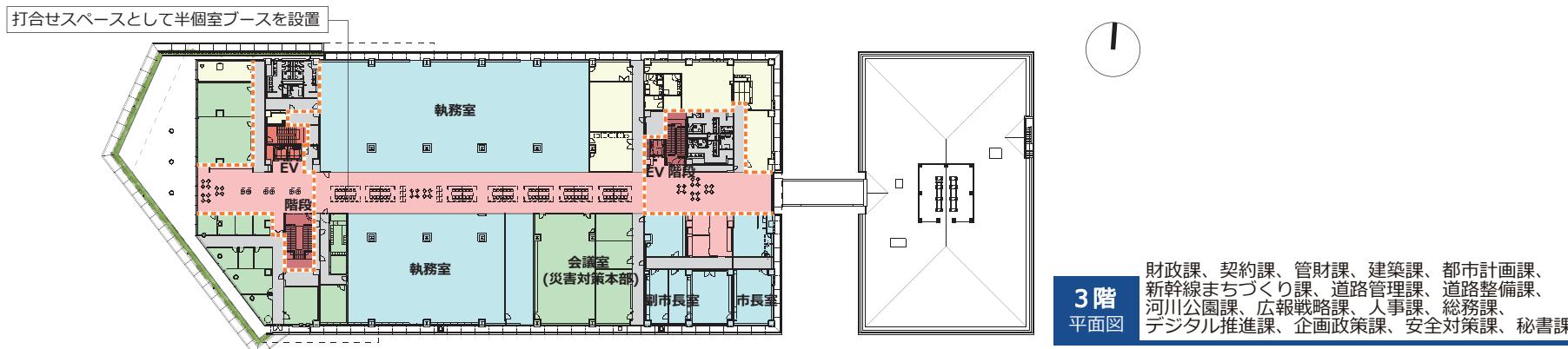


4階ロビーからは屋上テラスに出ることができます、長崎空港や大村湾を一望できる空間とします。



議場は本市の郷土芸能である黒丸踊の大花輪を連想するデザインとします。壁や天井は、大村市産木材等を用いてあたたかみのある空間とし、吸音性能の高い内装材も用いることで静寂で安定した議場環境を提供します。

7.平面計画



構造・設備計画～市民の安全・安心を支える庁舎～

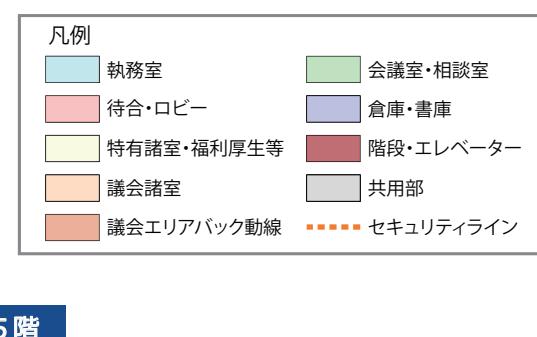
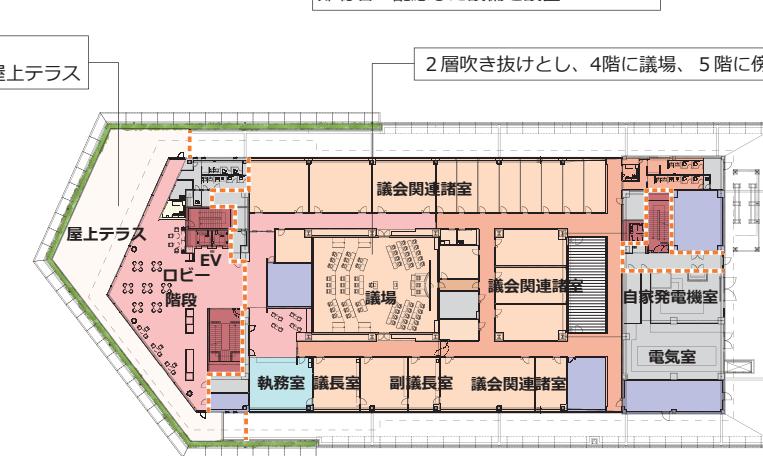
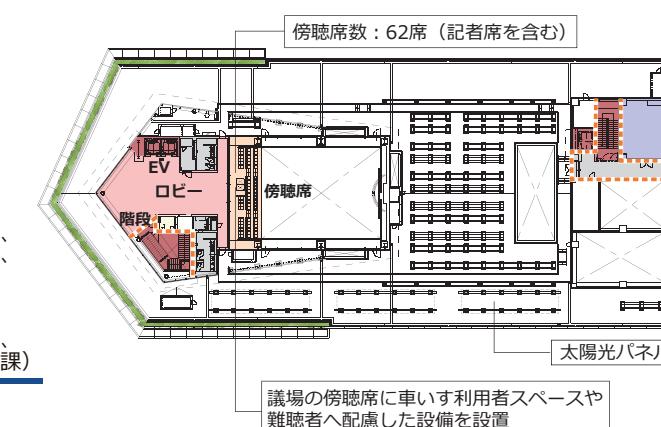
- ・庁舎棟は、大地震時も直ちに防災拠点として機能するよう、基礎免震構造を採用します。災害時においてインフラ供給が遮断されても、電力、給排水、空調、通信といったライフラインの維持を図る設備を整備します。

環境・省エネ計画～人や環境にやさしい庁舎・経済性を考慮した庁舎～

- ・ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、自然エネルギー・省エネルギー機器、システムを活用し、環境負荷の低減を図る計画とすることで、ZEB Ready を達成します。
- ・建物の長寿命化や維持管理費等ライフサイクルコストを考慮した設備を導入します。

ユニバーサルデザイン計画～すべての市民が使いやすい庁舎～

- ・「長崎県福祉のまちづくり条例」及び、「バリアフリー法（建築物移動等円滑化基準）」に基づき、すべてのひとにとって安全・安心で利用しやすい施設とし、徹底したユニバーサルデザインを追求します。



5階
平面図 傍聴席